

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 18 21 48 49	施設内の家事作業に偏りがちで、散歩や外出が毎日実践されていないのが現状。引きこもりがちな利用者様、下肢筋力の低下がみられる利用者もいるため、関りを増やし、外を歩く機会を増やす必要がある。	ADLを維持していくためにも、職員間で声を掛け合い、率先して外に出向く。長距離を歩けない方は車椅子を利用し、公園内など少しでも歩く機会を作る。	天気の良い日は毎日外出する。実践しているか、利用者様によって頻度に偏りが生じていないかわかるチェック表を作成し、継続して記録に残す。	12ヶ月
2	23 26 27	面会時にご家族様からニーズを聞き取り、ご本人様のご要望等を確認しているが、積極的な意見が出ていないように思う。そのため、職員による日常から得られる情報からのケアプランの作成が主となり、利用者様主体となる支援をするためには更なるニーズを引き出す必要がある。	ホームが利用者様の家となるよう、これまで以上に利用者様とご家族様の想いが主体的となり、それを職員が支えるケアプランを作成し実行する。	面会時にご家族様からの想いを引き出し、その記録を残し、全体で共有する。それをケアプランに反映させ、ミーティングで実践できたかを振り返り、随時振り返りを行う。	12ヶ月
3	2 29 48 49	新しい地域資源の活用や地域交流、開拓ができていない。	近所の保育園との交流機会を作り、より開かれた環境を作る。お互いに気軽に行き来できるような関係性を築き、新しい地域交流を始める。	ホームから保育園に出向き、園児と利用者様との交流を図り、また、園児たちからも施設に来訪してもらう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。